

電子デバイス（半導体、ディスプレイ、電子部品等）の市場、技術、業界動向を中心に

NEWS TOPICS (No. 140) 2026 年 8 月

越石健司

■半導体

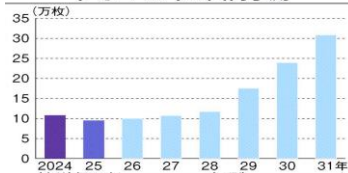
□半導体装置、アドバンスドパッケージ先進後工程に参入加速

2026. 8. 7

処理・省電力性能を向上、PLP大型化で競争激化

半導体のアドバンスドパッケージへの参入に向けた日系製造装置メーカーの動きが活発化している。背景には、半導体の性能向上や消費電力の抑制に当たって 2.5 次元や 3 次元実装といった後工程による高密度化が重要性を増していることがある。ガラス基板や樹脂からインターポザーを作るパネルレベルパッケージ（PLP）の活用が見込まれており、装置メーカーの対応が注目される。

ファンアウト・パネルレベルパッケージ (FO-PLP)の出荷予測



● 富士キメラ総研の資料を基に作成。FO-PLPはPLP上でファンアウト(チップの外側まで配線を広げる)実装を行う方式

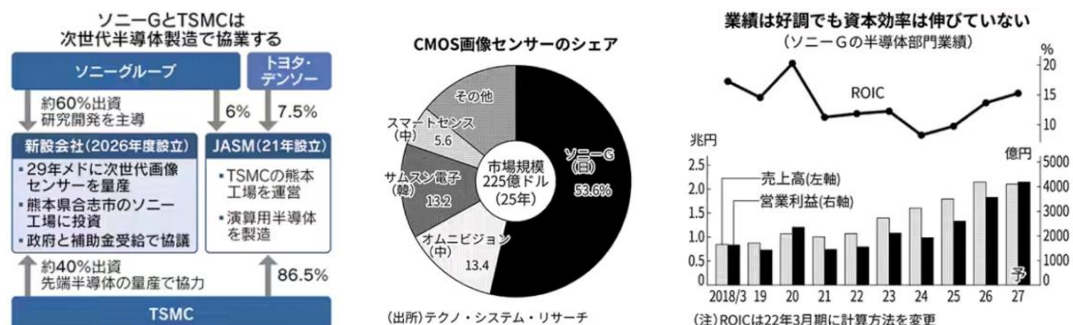
PLPは将来、500*500mmなどに大型化する見通しで、従来の 300mmφウエハを使うよりも生産性に優れる。TSMCの 310*310mm PLP 技術「CoPoS」は 29~30 年に量産が始まるとみられる。

□ソニー・TSMC 1兆円投資 首位堅持へ強者連合

2026. 8. 11

熊本、地震後も積極増産 次世代センサー先手

ソニーグループと台湾積体回路製造（TSMC）は 2029 年にも熊本県で画像センサーの次世代半導体を量産する。7 月の熊本地震以降も積極的に同県で事業投資を続ける方針を示す。両社の総投資額は 1 兆円規模になるとみられる。



□TSMC、次世代ガラスパッケージング「CoPoS」ライン稼働開始

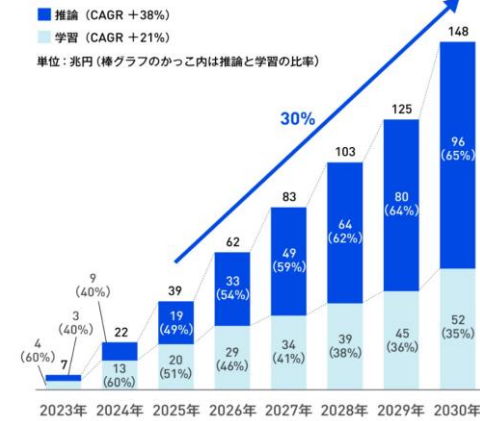
2036. 8. 11

TSMC が、次世代パッケージング技術「チップ・オン・パネル・オン・サブストレート (CoPoS)」の初の生産ラインを台湾・嘉義先端パッケージング第 7 工場に完成させ、稼働を開始した。技術と歩留まりが安定するまでには約 1 年を要する見通しだ。TSMC の CoPoS 生産ラインは、310mm×310mm のパネル規格において、装置および材料のコアテストと商用化検証段階に本格的に突入した。

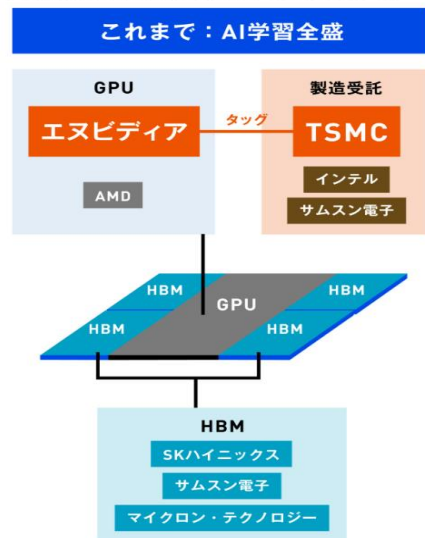
□AI 半導体、推論シフトで一変 NVIDIA1 強から群雄割拠へ

2026. 8. 20

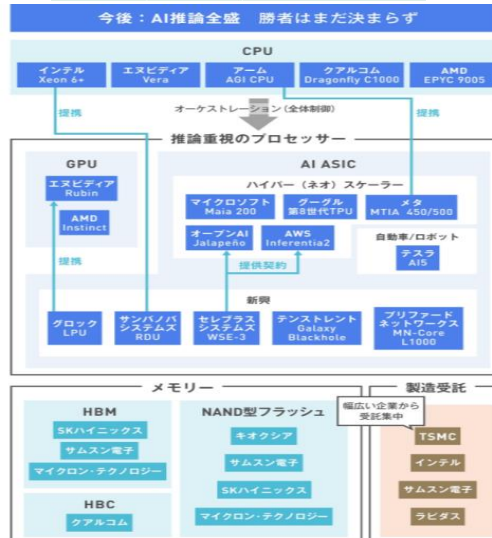
AI（人工知能）半導体といえば米 NVIDIA（エヌビディア）の GPU（画像処理半導体）が主役——。こうした状況が大きく変わろうとしている。AI 半導体の主な用途が学習から推論に移ることで、CPU（中央演算処理装置）や AI 用 ASIC（特定用途向け半導体）、メモリーの重要性が増すからだ。



データセンター向けAI半導体の市場規模の推移（推定）。各社の売上高を基にADL（推定）を算出した（出所：ADLジャパン）



半導体	企業	投資・協業動向
半導体	エヌビディア	グロックと契約して新たな推論半導体を開発。AIエージェントを意図したCPU「Vera」も手掛ける
	インテル	AIエージェントを意図したCPU「Xeon 6」を発表。米新興サンパノバ・システムズと提携
	ブロードコム	オープンAIやグーグル、メタなどAI半導体の開発で協業
ハイパー（ネオ）スケール	グーグル	推論半導体「TPU」を開発・利用。
	AWS	AI半導体「Trainium」を開発・利用。外販も検討
	メタ	推論半導体「MTIA」の最新世代を26年3月に公開
自動車/ロボット	マイクロソフト	推論半導体「Maia 200」を発表
	オープンAI	推論半導体「Jalapeño」をブロードコムと共同開発。米新興セレスパ・システムズと大規模契約
	テスラ	AI半導体工場「テラファブ」構想を発表。自動運転や人型ロボットに向けて推論半導体を開発・製造



□SKC子会社 Absolics、ガラス基板商用化 4011 億ウォン増資

2026. 8. 21

評価試験や顧客認定対応、設備更新に投資 米ジョージア工場で量産準備を加速

SKCは、子会社 Absolics がガラス基板の商用化に向け 4011 億ウォンの株主割当増資を実施すると発表した。調達資金は評価試験、顧客認定対応、設備更新に充てる。

□コンデンサーなど電子部品、AI 特需で品薄 7～9 月の半導体 9 指標

2026. 8. 25

世界の 7～9 月期の半導体関連の市況は、人工知能（AI）用途の特需を受け、コンデンサーなどの電子部品でも需給逼迫が強まりそうだ。メモリー半導体の品不足も続く。スマホなど最終製品の値上がりや出荷減少も目立ち消費者への影響が広がり始めている。

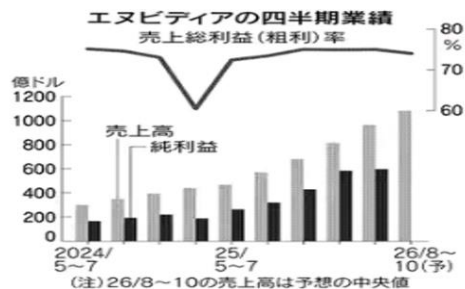
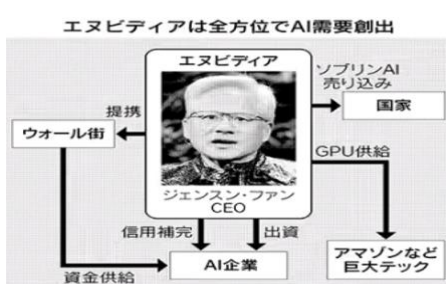
半導体市況を占める9つの指標（前年同期比）			
半導体	2025/10～12月	26/1～3月	4～6月
世界売上高（WSTS）	38.4%	79.2%	2.2倍
台湾・TSMC売上高	20.5%	35.1%	36.0%
韓国・サムスンのメモリー売上高	62.0%	3.9倍	5.7倍
装置・素材			
シリコンウエハー	8.0%	13.1%	7.4%
世界出荷面積（SEMI）			
日本製の半導体装置売上高（SEAJ）	▲4.5%	11.1%	26.9%
電子部品			
日本の電子部品出荷額（JEITA）	1.8%	5.8%	0.3倍
日本のコンデンサー生産数（生産動態統計）	3.0%	15.7%	22.6%
最終製品			
スマホ出荷台数		6.7%減（4～6月）	
PC出荷台数		4.9%減（4～6月）	

（注）▲はマイナス、JEITAは26年4～5月、スマホ・PC出荷は米IDC調べ

経営者の見方	
TSMC/韓哲家・董事長兼CEO	2029～30年まで需要は非常に強く、トレンドは非常に強い
韓国サムスン電子/金在韓・メモリー担当副社長	27年は26年より供給不足が深刻化しそうだ
キオクシア/河村芳彦副社長	エーダント型AIの普及・拡大を背景にNANDの需要はまだ立ち上がりの段階で、さらに力強くなる
東京エレクトロン/川本弘CFO	下期はメモリーや先端ロジックを中心にさらに出荷が増える。上期を上回る力強い成長を想定している
村田製作所/中島規巨社長	データセンター向けの部品需要は想定以上。ハイパースケーラー（大規模クラウド事業者）の投資は過熱気味だ
太陽誘電/福田智光・取締役専務執行役員	AIサーバー向けのハイエンド品が業績拡大をけん引していく。小型かつ大容量品の需要が高い

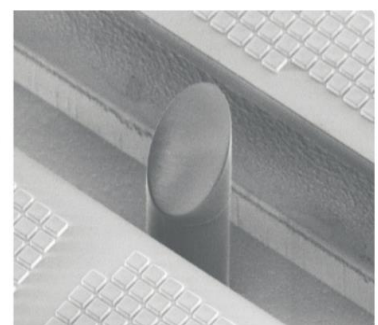
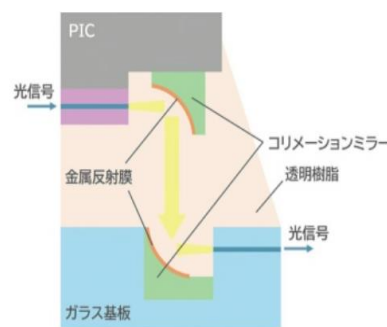
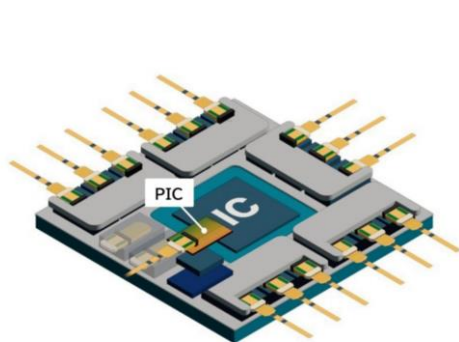
□キオクシア、6年間で国内半導体投資5兆円 岩手新棟は29年度に稼働 2026. 8. 28
 キオクシアは27日、岩手県で半導体メモリーの新製造棟を建設すると発表した。2029年度の量産を目指す。三重県の工場も合わせて今後6年間で計5兆円を投資する。人工知能（AI）向けに高速処理メモリーに注文が殺到しており、増産対応を急ぐ。

□エヌビディア、全方位外交 国家・金融に売り込み 2026. 8. 28
来期7割増収 AI需要を自ら創出と批判の声
 米半導体大手エヌビディアは、2028年1月期の売上高が27年1月期比で7割増になるとの見通しを明らかにした。テック企業だけでなく政府や金融業界に働きかけ全方位で人工知能（AI）需要を創出して成長を続ける。AI需要の持続力を株式市場に示した格好だ。

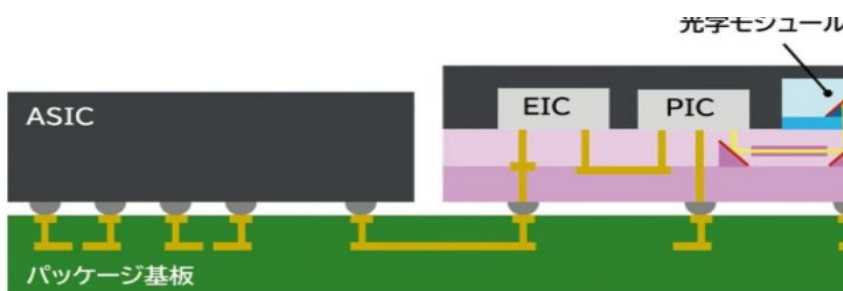


□光電融合技術 CP0、量産の鍵は「光の接続」 住友電工や古河電工などの日本勢が存在感 2026. 8. 19

半導体パッケージ内に光学部品を実装する「光電融合」が半導体後工程の中心テーマになりつつある。国際学会 ECTC 2026（2026年5月、於：米オーランド）では、例年注目されるセッション2のテーマに光電融合向けの先端後工程技術「Co-Packaged Optics (CPO)」が選ばれた。光電融合関連で焦点となったのは、CPOの量産化に向けた光の接続技術だ。光ファイバーを光導波路やPIC（光集積回路）と低損失かつ高い生産性で接続する技術に各社が知恵を絞る。



コリメーションミラーを用いた実装イメージ（左）とコリメーションミラーの電子顕微鏡画像（右）（出所：住友電気工業）



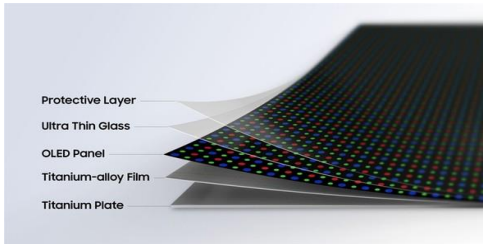
産総研が提案したCPO構造。光エンジン内に光ファイバーの接続を簡単にするための光学モジュールの論文を基に日経クロステックが作成

■ディスプレイデバイス（液晶・有機EL 他）・タッチセンサー・部材

□強度 20 倍のフィルム採用で折り目が目立ちにくい折りたたみスマホの新技术

2026. 8. 3

サムスン電子は、折りたたみスマホ向けに、耐久性の向上と折り目の目立ちにくさを両立した新技术「Flex Titanium」を発表した。チタン部品の組み合わせにより薄さと柔軟性、強度を両立する。新技术は、チタン合金フィルムとチタンプレートを開発し、これらを組み合わせることによって、外部からの衝撃に耐える強度、繰り返しの折りたたみに耐える柔軟性、薄く洗練されたデザインを同時に達成した。



チタン合金フィルムとチタンプレートの組み合わせ構造

チタン合金フィルムは、OLED パネルの下層に位置してディスプレイを内側から支える。

□JDI の 4～6 月期、最終赤字 34 億円 債務超過は 6 月末に解消

2026. 8. 10

ジャパンディスプレイ（JDI）が 10 日発表した 2026 年 4～6 月期連結決算は、最終損益が 34 億円の赤字（前年同期は 202 億円の赤字）だった。人件費削減などの構造改革が寄与した。親会社のファンドによる新株予約権の行使で債務超過を解消し、6 月末時点の純資産は 36 億円のプラスとなった。3 月末時点で 74 億円の債務超過に陥っていた。売上高は前年同期比 26%減の 239 億円だった。同社の旗艦工場で、スマートフォン向け液晶パネルなどを製造していた茂原工場の生産終了が響く。

□タッチスクリーンのガラス上で 2000℃を実現する光パルスの技術

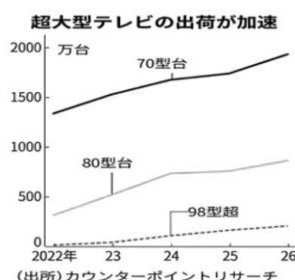
2026. 8. 20

ヘブライ大学の研究チームが、ミリ秒級のパルス光で酸化ビスマス薄膜を約 2000℃に瞬間加熱し、基盤のガラスを 100℃以下に保ったまま亜安定な β 相を室温で固定した。

透明導電ガラス上の薄膜で結晶多形の可逆切り替えを実証した初の例であり、太陽電池や光触媒の製造工程に「炉を使わない相制御」という新軸を加える。

□液晶テレビの大型化加速 98 型超の出荷は 4 年で 12 倍、メモリ高も一因 2026. 8. 27

液晶テレビの大型化が加速している。70 インチ（型）以上の世界出荷台数は 4 年で 8 割増え、98 型超では 12 倍となる。テレビの値下がりが進むなか、テレビメーカーは利幅の大きい大型機種の出荷を急いでいる。半導体メモリー価格が高騰した影響もある。



■新技術、材料、電池

□アイシン、薄ガラス型軽量ペロブスカイトの量産技術確立へ

2026. 8. 7

トヨタグループの自動車部品大手アイシンが薄ガラス型軽量ペロブスカイト太陽電池（PSC）の量産技術確立と社会実証に大きく乗り出す。新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）が総額 2 兆 7564 億円の基金で進める「グリーンイノベーション基金事業」の一部として、同社の取り組みが採択を受けた。

□AI 使い自然界にないウイルスを作製 米スタンフォード大学が成果発表

2026. 8. 7

米スタンフォード大は 6 日、人工知能（AI）を使って自然界にない新たなウイルスを作製することに成功したと発表した。AI が生命の設計図にあたるゲノム（全遺伝情報）の配列全体を設計し、機能を確認できた初の事例という。医療の進歩につながる一方、バイオ兵器など悪用懸念もある。

□人工冬眠やミクロの医師 SF に近づく現代科学

2026. 8. 11

想像力、技術革新後押し

子どもの頃に映画や小説などの SF 作品に胸をときめかせた人は多いだろう。SF が描く人工的な冬眠や、小さな「医師」が患者の体に入って病気を治療する技術が将来実現するかもしれない。急速な進歩を遂げる科学研究はそんな可能性を示す。

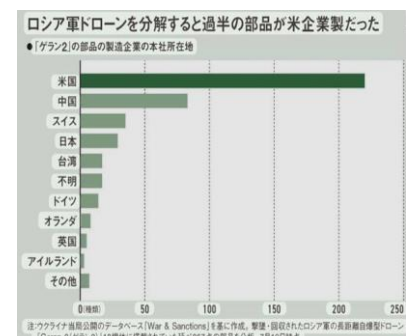


□防衛の要・ドローン、日本の供給網の現在地 生産能力、中国の 0.1%

部品、ロシア製にも搭載

2026. 8. 7

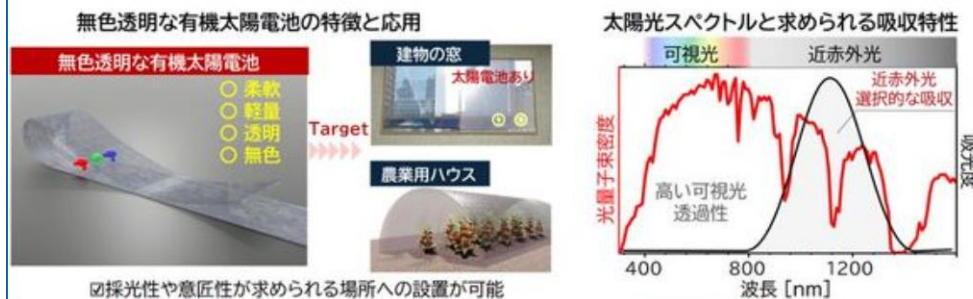
欧州や中東の戦場でドローンが欠かせなくなり、生産能力が防衛力を左右している。日経ビジネスの分析では、**日本の生産能力は中国の 0.1%以下の可能性がある**。経済的にも安全保障面でもドローンを基幹産業に育てられるかが重要になっている。



口見えない光で発電、無色透明な有機太陽電池を開発建物や自動車の窓ガラスに応用も

2026. 8. 13

大阪大学と東京大学、青山学院大学、artience らによる共同研究グループは、人の目に見えない「近赤外光」で発電する、無色透明な「有機太陽電池（OSC）」を開発した。建物や自動車の窓ガラス、ウェアラブルデバイスなどに組み込むことが可能となる。



口カネカ、タンデム型ペロブスカイト電池を建物向けから展開

2026. 8. 21

カネカは 2028 年度の販売開始を目指しているタンデム型ペロブスカイト太陽電池について住宅などの建物向けから展開を始める方針だ。既存の結晶シリコン太陽電池と薄くて軽い次世代のペロブスカイト太陽電池を重ね、それぞれが異なる波長の光を吸収することで従来より高い発電効率と高耐久性を実現するもの。

口白山 光コネクタ部品拡大 超小型対応で先手、世界需要狙う

2026. 8. 18

白山（金沢市）が手がける光ファイバー用コネクタ部品の需要が、A I（人工知能）データセンター（D C）の拡大を受け急増している。主力の多心光コネクタ部品「M Tフェルール」は世界トップクラスのシェアを持つ。2028年4月の稼働開始を目指し、超小型（V S F F）多心光コネクタに対応の「T M Tフェルール」を生産する工場建設にも着手した。世界規模の需要拡大を前に先手を打つ。



・

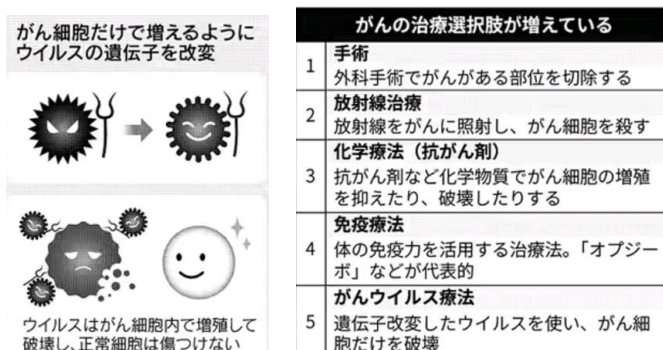
白山は 25 年 1 月に古河電気工業の連結子会社となり所沢工場で行っている。

口ウイルスでがん攻撃「敵を味方に」オンスリス、世界初の食道がん薬

2026. 8. 22

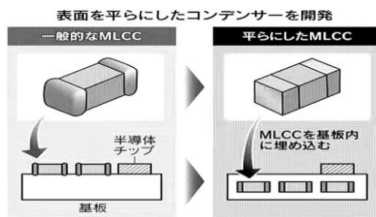
遺伝子を改変したウイルスでがんを治療する「がんウイルス療法」が実用段階に入った。岡山大発スタートアップのオンスリスバイオフィーマは 21 日、食道がんの新薬「テロメライン」を日本で発売した。食道がんのウイルス療法は世界初となる。

6 月に厚生労働省に承認され、薬価（公定価格）は患者 1 人あたり約 930 万円に決まった。1 瓶あたりの価格は約 310 万円で、2 週間おきに 3 回投与する。富士フィルム富山化学と提携して販売し、21 日から投与が始まる見込み。



□京セラ、基板埋め込み型コンデンサー AI サーバー向け 電力ロス削減 2026. 8. 22

京セラは人工知能（AI）サーバー向けに、電子基板に埋め込む積層セラミックコンデンサー（MLCC）を開発した。半導体チップの近くに MLCC を配置でき、配線による電力ロスを削減できる。



□日東電工、スマートグラス部材を 28 年度投入 2026. 8. 24

日東電工はAI（人工知能）やAR（拡張現実）機能を備えたスマートグラス向け部材に参入する。光学部材や回路基板など複数の対応製品を開発しており、一部はサンプル品を顧客が評価中。顧客の開発動向次第だが、2028年度ごろの市場投入を想定し、30年度に100億円以上の事業規模を目指す。開発を進めるのは、フィルム状のホログラフィック関連部材、光導波路において光を内部に閉じ込める用途などで使用する超低屈折材料、調光酸化インジウムスズ（ITO）フィルム、フレキシブルプリント基板（FPC）など。24年度に出資したARグラス向け光学部品開発の英トゥルーライフ・オプティクスとも連携して開発する。

□光照射で機能が切り替わる「分子スイッチ」を開発 2026. 8. 20

沖縄科学技術大学院大学は、紫外線を当てると構造が変化する「多機能化合物」を合成した。この分子は照射する光の波長に応じて構造が切り替わる「分子スイッチ」として機能する。分子エレクトロニクスやデータストレージ技術などへの応用に期待する。

□日本電気硝子、サーバー向けガラス繊維を 27 年に量産 AI 普及で再参入 2026. 8. 29

日本電気硝子は人工知能（AI）サーバー向けのガラス繊維の量産を2027年に始める。電子基板の補強材料に使い、電力ロスを小さくできる。電子部品向けは20年前にいちど撤退した経緯があるが、生成AIの普及を機に再参入した。低誘電性のガラス繊維は高速大容量通信の普及とともに需要が高まっている。

□創る力／ペロブスカイト太陽電池 飛躍なるか「国策産業」エネ安保の中核技術に

2026. 8. 31

政府のペロブスカイト太陽電池の社会実装に向けた主な支援策と採択先		
支援対象	事業名	採択先
研究開発	GI基金・次世代型単接合太陽電池実証事業	積水ソーラーフィルム リコー パナソニックHD エネコートテクノロジーズ アイシン
	GI基金・次世代型タンデム太陽電池量産技術実証事業	長州産業 カネカ
設備投資	GXサブライチエーン構築支援事業	積水化学工業
設置	ペロブスカイト太陽電池の社会実装モデルの創出に向けた導入支援事業	さいたま市 滋賀県 福岡県 福岡市 NEXCO西日本

ペロブスカイト太陽電池（PSC）の市場が立ち上がりつつある。積水化学工業が3月に軽くて曲げられるフィルム型PSCの事業を始動し、国内メーカーの先陣を切った。政府はエネルギー安全保障に貢献する「国策産業」と位置付け、初期需要の創出に躍起だ。ただ、製品の性能や量産技術は発展途上で、発電コストの引き下げなど課題も横たわる。産業として成長できるか否かの分水嶺を遠からず迎える。

■カーエレクトロニクス

□BYDは本気で軽市場を奪いにきた？ 新型「ラッコ」発表。
日本人技術者ゼロで専用開発

2026. 8. 8

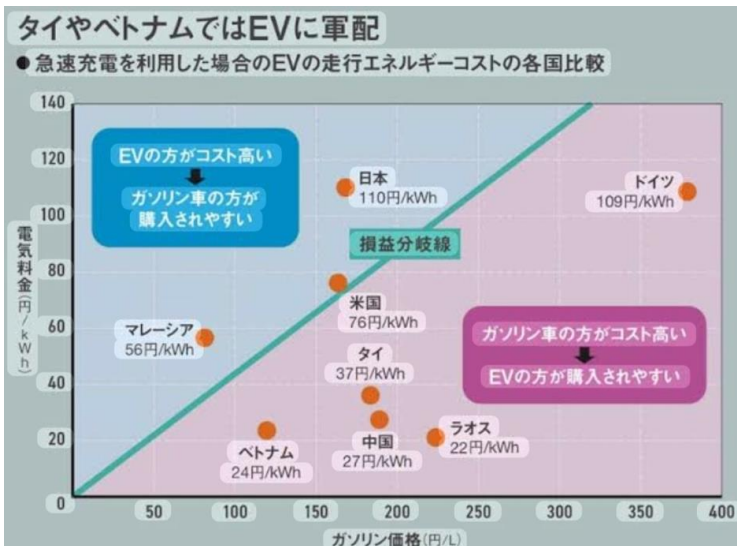


BYD オートジャパンは 7 月 28 日、日本市場専用開発した軽自動車の電気自動車（EV）「RACCO（ラッコ）」を発表した。注目すべきは、この開発チームに日本人技術者が加わっていない点である。従来、中国の自動車メーカーは日本や欧米の技術を吸収しながら成長する構図が語られることが多かったが、ラッコの開発体制はその前提がすでに過去のものになりつつあることを示す一つの事例と言えるだろう。

□EV失速の幻想 安さが世界を塗り替える

2026. 8. 10

「EV 失速」は本当か。世界を見渡せば電気自動車へのシフトはむしろ新たな局面に入っている。欧州では低価格 EV が市場を押し上げ、東南アジアでは新興 EV が「国民車」への道を歩み始めた。中国では淘汰を経たメーカー同士が技術と収益力を競い合う一方、北米は需要の踊り場に立つ。日本勢は、どうか。ハイブリッド車で稼げる猶予期間に抜本的な EV 戦略の見直しが不可欠だ。環境対応から価格と技術、そして開発スピードの勝負へ。世界の「EV シフトの現在地」を探った。



EVシフトの鈍化で
開発の延期や中止が相次ぐ

●直近におけるEV関連事業見直しの動き

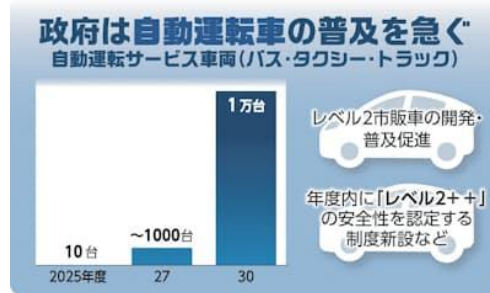
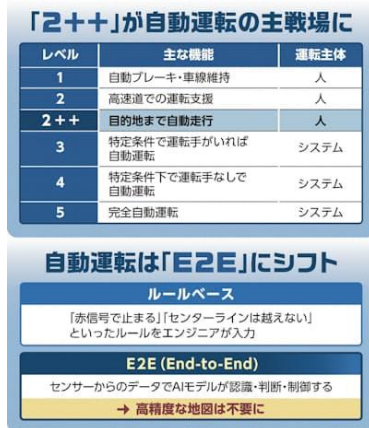
トヨタ	高級ブランド「レクサス」の次世代EVセダン「LF-ZC」の開発を中止
ホンダ	2040年までに全世界の新車販売を全てEV・FCVにする「脱エンジン」宣言を撤回 「ゼロ」シリーズなどEV3車種、ソニー・ホンダモビリティのEV2車種の開発を中止
日産	北米工場で予定していたセダンEV2車種の開発計画を撤回
スバル	28年に予定していた自社開発のEVの発売を延期
マツダ	27年に予定していたEVの世界戦略車の発売時期を29年以降に延期

□自動運転、新興提携に活路

2026. 8. 21

日産、欧米勢と組み次世代 AI 搭載へ 「組み立て屋」へ転落避ける

人工知能（AI）が車両の全ての操作をする自動運転車の開発を日本車各社が急いでいる。自前主義を捨て AI 新興などとの提携で先行する米中勢を追う。対応が遅れれば単なる「組み立て屋」に転落する。新型自動運転車が発売されるの 1～2 年が勝負の時となる。



□日本精機、デンソーのHUD 買収 コスト競争力向上

2026. 8. 31

日本精機はデンソーのヘッドアップディスプレイ（HUD）事業を買収する。買収価格は非公表。日本精機が保有するHUDの開発・製造基盤と、デンソーのHUDに関する技術や製造ノウハウを組み合わせることで、HUDの生産・開発を効率化しコスト競争力を高める狙いだ。両社は事業の譲り渡しに関する契約を28日付で締結し、2027年2月26日に移管を予定する。日本精機はHUDで世界シェア首位。26年3月期のHUD生産台数は約210万台だった。

■環境/エネルギー/レアアース/SDGs

□銅、AI 需要で最高値迫る 鉱石不足や関税観測で米中争奪 在庫急減で逼迫サイン

2026. 8. 4

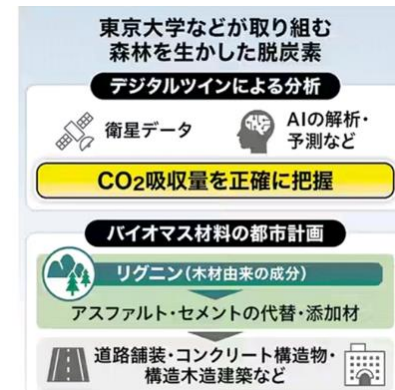
銅が過去最高値をうかがう展開となっている。鉱石不足や米国での関税観測で供給懸念が広がるうえ、最大消費国の中国が確保する姿勢を強めている。人工知能（AI）産業の成長に欠かせない重要鉱物を米中が取り合う構図が鮮明だ。

国際指標であるロンドン金属取引所（LME）の3カ月先物は7月31日時点で1トン1万3791ドル。1月29日に付けた過去最高値（1万4527.5ドル）を視野に入れた動きが続いている

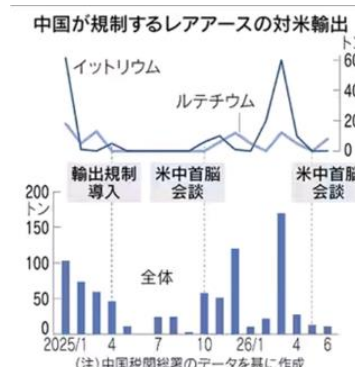
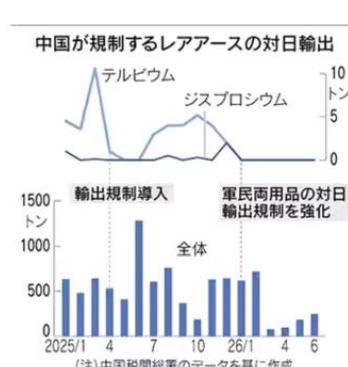
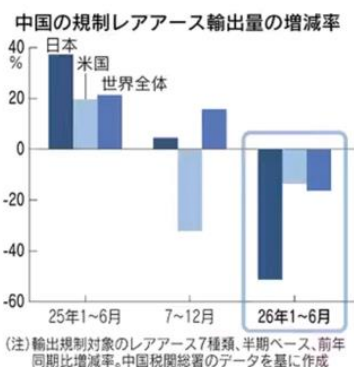
□森林が秘める脱炭素力 CO2 吸収量、想定 of 2 倍

2026. 8. 9

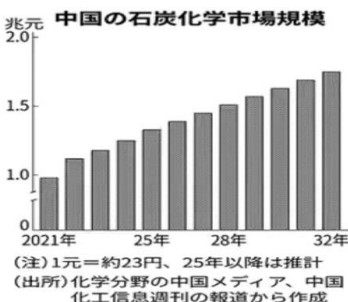
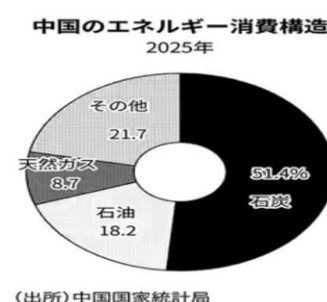
森林を活用した脱炭素研究が盛んだ。東京大学は日本の森林が従来想定 of 約2倍の二酸化炭素（CO2）を吸収していることを明らかにした。脱炭素への取り組みが世界の経済活動の基準となる中で森林国・日本の切り札となりそうな研究が相次ぐ。日本の温暖化ガス排出量の約17%に匹敵する規模となる。



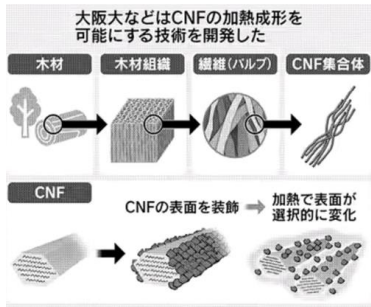
中国のレアアース対日輸出、1～6月は半減 規制緩めず米国も1割減る 2026. 8. 9
 中国が米国と日本へのレアアース（希土類）輸出を抑えている。輸出規制対象であるレアアースの1～6月の日本向け輸出量は前年同期比5割減、米国向けは1割超減った。レアアースを経済的威圧や交渉の切り札とする戦略が改めて鮮明となった。



中国「石炭化学」に14兆円 ホルムズ危機で石油代替、エネルギー安全保障を改善 2026. 8. 10
 中国政府は石炭から樹脂などを製造する石炭化学産業を伸ばす。米国とイランの対立でホルムズ海峡の安定的な通航が見通せないなか、中国産の石炭を活用してエネルギー安全保障を高める。中国メディアによると、プロジェクトの規模は6000億元（約14兆円）超だ。
 中国内陸部の4万平方キロメートルを超えるムウス砂漠の一角で、陝西省の国有企業、陝西煤業化工集団が手掛ける世界最大の石炭化学コンビ...



木材由来の繊維を熱加工 強度維持、自在に成形 阪大など29年実用化へ 2026. 8. 11
 大阪大学などの研究チームは木材由来の極細繊維「セルロースナノファイバー（CNF）」の強度を維持しながら、熱で自在に成形できる新技術を開発した。粉状やシート状に加工できる。第一工業製薬などと共同研究を進めており2029年までに実用化を目指す。



主なセルロース繊維研究の歩み	
1838年	セルロース発見
1980年代～	高圧力で繊維素材をマイクロ単位、ナノ単位レベルまでバラバラにほぐす技術の研究が始まる →CNF研究の源流
90年代～	日本でもナノ繊維作製の研究が行われる
2006年	磯貝特別教授らが極めて細いCNFを均一に製造する技術を確認 製紙各社が事業化を本格的に検討、設備稼働、用途開拓
10年代	日本製紙がCNF実証設備稼働、王子HDや大王製紙がサンプルなどの製造開始(2013年)
20年代	CNF材料の実用化に向け、弱点克服や加工性能高める研究進む

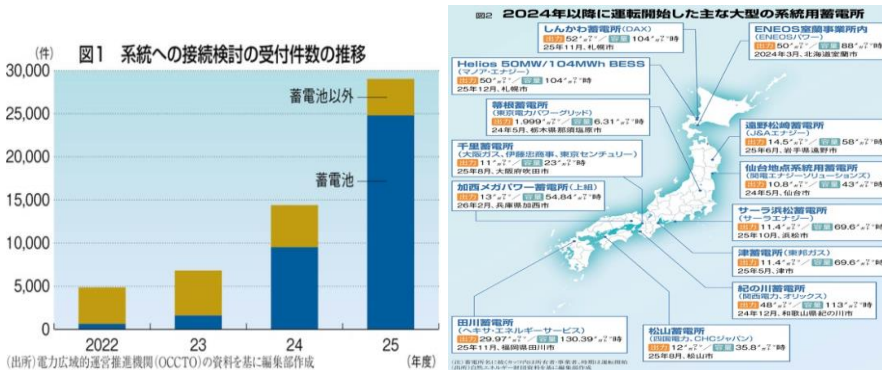
□電力を“蓄える”時代へ 蓄電池大ブーム

2026. 8. 14

出力2メガ・容量8メガ“ニッパチ”蓄電所急増中

電力系統に接続する蓄電所が各地で急増している。また、電気自動車（EV）販売も世界で再加速しており、国内では初の軽EVの販売も始まった。

国内各地で今、全国的な電力ネットワークに接続する蓄電所が急増している。その中心が通称「ニッパチ」と呼ばれる出力約2メガワット、容量8メガワット時前後の、初期投資5億～6億円程度に抑制した蓄電所だ。



□NGK、セラミックスでCO2回収 吸収効率3倍の部材開発 車排気技術生かし脱炭素

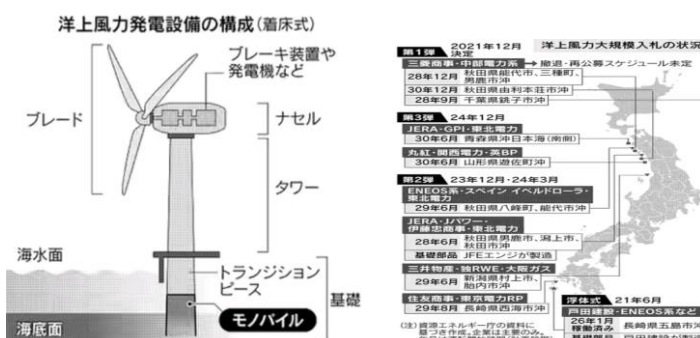
2026. 8. 26

大気や工場の排ガスから二酸化炭素（CO2）を回収する技術の開発で、日本企業が先行している。NGK（旧・日本ガイシ）は2027年度にも回収効率を3倍に高めた部材の商用生産に乗り出す。CO2を資源化する製品が輸出産業に育つ可能性がある。

□洋上風力でJFEエッジが部品初製造 三菱商事撤退1年、国産65%始動

2026. 8. 27

三菱商事連合が国内3海域での洋上風力発電計画の撤退を発表してから丸1年がたつ。海外調達頼みで部品コストが想定以上に上昇した状況を踏まえ、政府は国産比率65%を目標に掲げる。JFEエンジニアリングが基礎部品の国内生産を始め、計画仕切り直しに向けた動きが本格化する。

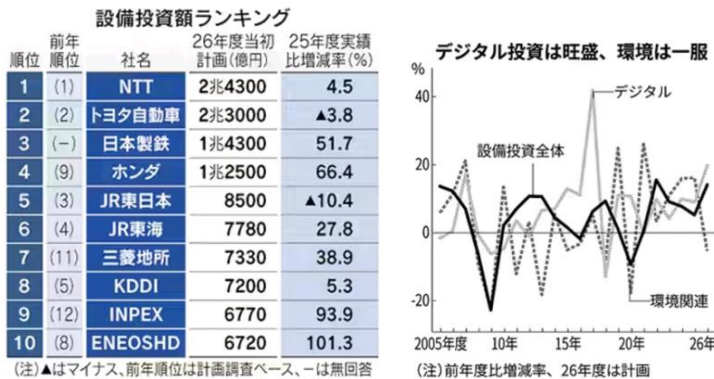


■企業動向、製品動向

□設備投資最高 35 兆円 NTT 首位 AI 供給網の整備進む

2026. 8. 3

日本経済新聞社がまとめた 2026 年度の設備投資動向調査で、全産業の計画値が前年度実績比 14.2%増の 35 兆 6734 億円となった。過去最高を更新し、4 年ぶりに 2 桁の伸び率となった。データセンターや半導体、送配電設備など人工知能（AI）関連投資の裾野が広がっている。



□イビデン、一転増益 今期最終 32%増 IC 基板、AI 需要で伸び

2026. 8. 5

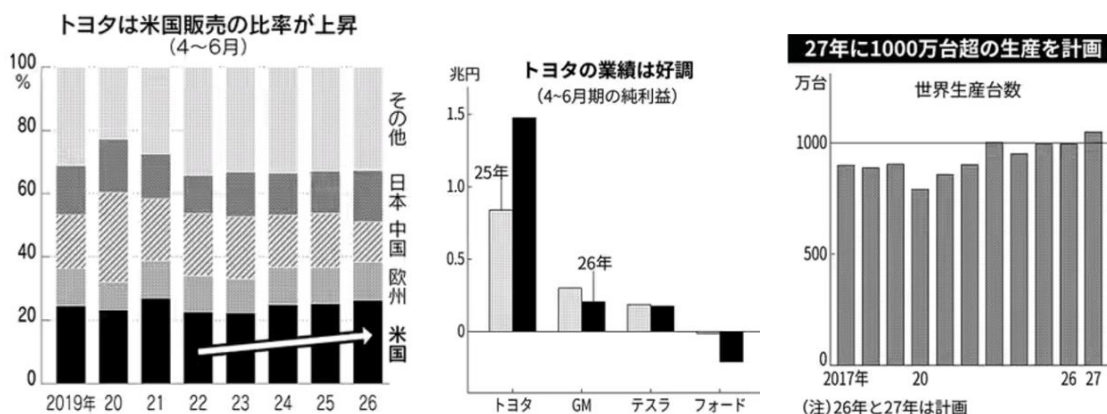
イビデンは 4 日、2027 年 3 月期の連結純利益が前期比 32%増の 840 億円になる見通しだと発表した。従来予想を 260 億円上回り、減益予想から一転増益となる。主力の半導体関連部品事業で生成 AI（人工知能）向けに加え、汎用サーバー向け需要も伸びる。

□トヨタ、今期純利益 3.2 兆円 上方修正、為替想定を円安に

2026. 8. 5

強まる米国依存 生産拠点の再編必至

トヨタ自動車は 4 日、2027 年 3 月期の連結純利益（国際会計基準）が前期比 16%減の 3 兆 2500 億円になりそうだと発表した。期初予想の前期比 22%減の 3 兆円から上方修正した。想定為替レートを円安方向に見直したことや、堅調なハイブリッド車（HV）需要などが寄与する。売上高は前期比 7%増の 54 兆円、営業利益は 10%減の 3 兆 4000 億円を見込む。



□韓流コスメ、「TSMC 流」で世界 2 位浮上 水平分業でヒット商品連発

2026. 8. 6

韓国の化粧品産業が快進撃を続けている。2025 年の輸出額は米国を抜いて世界 2 位に浮上した。原動力は水平分業モデルの浸透だ。半導体の T S M C のように化粧品を受託生産するメーカーが成長し、短期間でヒット商品を生み出す循環をつくり上げている。12

韓国内の化粧品のエコシステム

(生態系)

川上

ファブレス
(工場なし)企業

- ・マーケティング会社
- ・デザイナーなどの
個人事業主

敏感肌のクリームを
作りたい
ゴルフでの日焼け防止
の商品を企画した



商品設計や生産を委託

川中

ODM企業

- ・コルマー
- ・コスマックス

2社は「コスメ版
TSMC」の呼び声も

「多産多死」の
高速サイクルが
ヒットを生む

最短3カ月
で納入

量産

出荷

(写真:コルマー提供)

川下

流通企業

・CJオリーブヤング

商品発掘、販売
海外進出まで担
インフラ的企業



ソウル・郊外の店舗

ソウル市内の売り場展開→現社提供

店舗

・韓国に約1400店、外国人
観光客の人気スポットにも

・26年に米国進出、日本でも
ポップストア

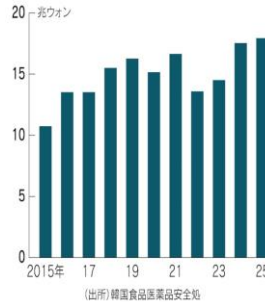
EC

・約50カ国・地域向け自社
サイト

・「アマゾン」(楽天市場)
[Qoo10]とも連携

グローバル展開

韓国の化粧品生産額は 過去最高を更新



化粧品は半導体やエンタメに 続く輸出産業に

2025年の化粧品輸出額ランキング

初めて米国を抜いた		
国・地域	輸出額 (億ドル)	
1位	フランス	242
2位	韓国	114
3位	米国	107
...		
7位	中国	72
8位	日本	38

(出所)韓国食品医薬品安全処

グラフィックス 荒川恵美子

□富士フィルム、ヘルスケア・半導体に集中 複合機分離 事務機再編の呼び水に

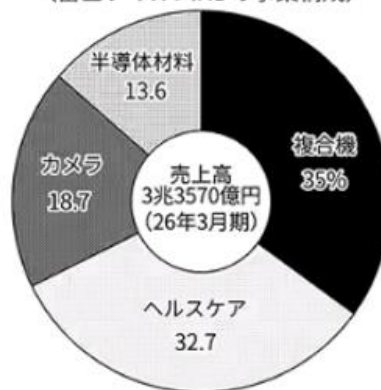
2026. 8. 7

富士フィルムホールディングス（HD）がオフィス向け複合機を手掛ける子会社のスピンオフを検討するのはヘルスケアと半導体材料に集中投資するためだ。同社の複合機部門が独立することで複合機業界の再編の呼び水となる可能性もある。

富士フィルムHDの複合機事業の経緯

1962年	富士写真フィルム（現・富士フィルムHD）とゼロックスが折半出資で富士ゼロックス設立
2001年	ゼロックス保有の富士ゼロックス株を一部買い取り、75%出資に
18年	ゼロックスの買収で合意も物言う株主の反対で頓挫
19年	ゼロックス保有の富士ゼロックス株を取得し完全子会社化
21年	社名を富士フィルムBIに
25年	コニカミノルタと部品調達の共同出資会社を設立
26年8月	富士フィルムBIの上場検討を発表

複合機が売上高で最大 (富士フィルムHDの事業構成)



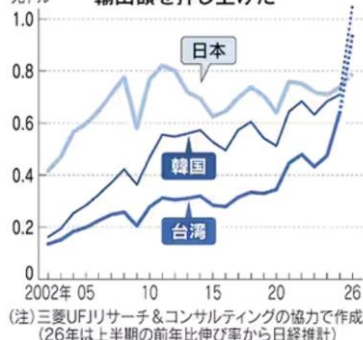
□韓国・台湾の輸出額、日本上回る AI 半導体が急伸

2026. 8. 8

1～6月 貿易立国、再興に影

韓国、台湾の1～6月の輸出額が初めて日本を上回ったことが分かった。人工知能（AI）向け半導体特需を受けて急伸した韓台に対し、日本は半導体関連の素材・製造装置に強みが限られ、恩恵に差が出た。世界が求める最終製品の供給で後手に回る日本のものづくりの現状を映す。

半導体特需が韓国、台湾の 輸出額を押し上げた



□サムスン半導体部門の賞与 6000 万円 DX 部門は 60 万円、組織不和生む 2026. 8. 22

サムスン電子は人工知能（AI）ブームによる巨額利益を稼ぐ一方、組織不和が出始めている。半導体部門に多額の賞与を与えたため、他部門の労働組合から反発の声が上がる。巨額利益が格差を生み、大家族主義で成長してきた基盤が崩れかねない。

□2 割縮んだシャープ、鴻海の「規模」生かせず 研究開発費も半減 2026. 8. 10
幻の液晶事業統合案

シャープが台湾の鴻海（ホンハイ）精密工業の傘下に入ってから 12 日で 10 年を迎える。液晶事業の不振で悪化した業績を立て直すため、生産連携などで相乗効果を探るも確たる成果は見えない。見込み違いが続いた 10 年を繰り返さないためには、両社の強みを見直すことが必要になる。

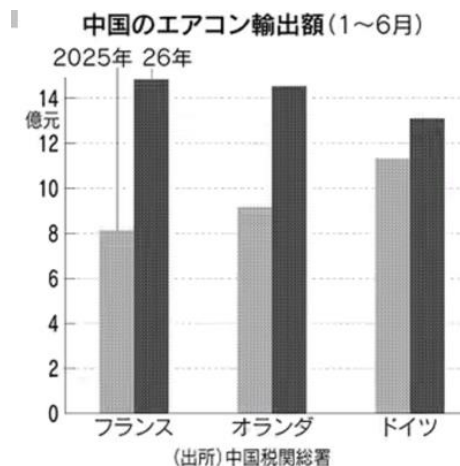
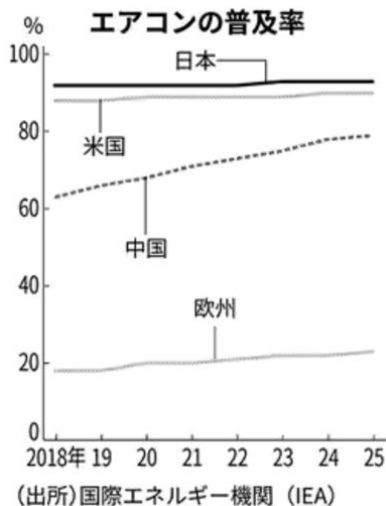


□中国製エアコン、欧州で販売急伸

2026. 8. 11

猛暑、美的はや去年の2倍 「移動式」工事いらず奏功

中国製のエアコンが欧州で売れている。家電大手の美的集団が手掛ける工事不要の「移動式」製品は、2026年初めから6月下旬までに25年通年の2倍となる20万台を出荷した。国内市場が低迷する中国勢は今回の成功を足がかりに海外市場の開拓を狙う。欧州は6月下旬に記録的な猛暑に見舞われフランスやドイツでは気温が40度を超えた。欧州のエアコン設置率は23%にとどまる。建築物の保護のため外壁に穴をあける工事が制限、制限がない住居も、エアコン設置工事のコストは高く予約も取りにくいケースが多い。



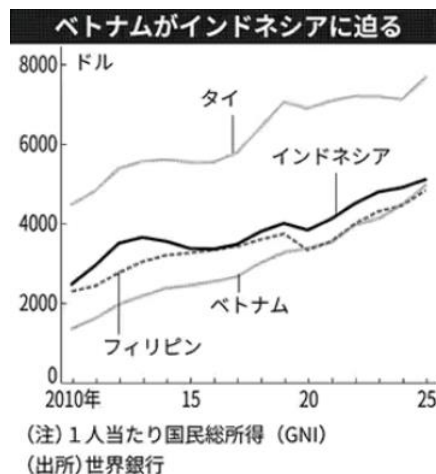
ASEAN、成長勢いに差 ベトナム・フィリピン「上位中所得国」に 2026. 8. 19
半導体など外資誘致 タイ・インドネシアは高度化遅れ

東南アジアで、ベトナムやフィリピンの経済成長に勢いがついている。半導体産業などの外資誘致が背景だ。これまで先行してきたタイやインドネシアは伸び悩む。高所得国入りには、安価な労働力だけに頼らない高度な産業の育成が欠かせない。

ASEAN加盟国の所得分類(2025年)

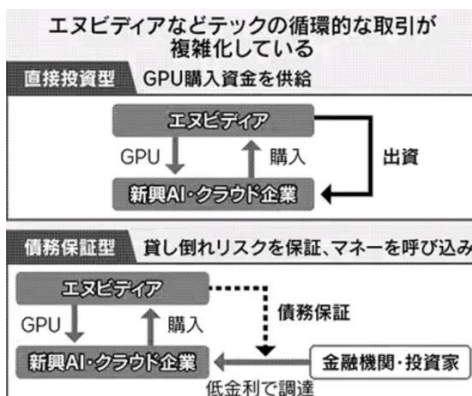
		1人当たり GNI(ドル)	24年比 増減率(%)	区分
1	シンガポール	8万1760	7.8	高所得国
2	ブルネイ	3万4790	-3.4	
3	マレーシア	1万2380	6.3	
4	タイ	7690	7.9	上位 中所得国
5	インドネシア	5120	4.1	
6	ベトナム※	4970	10.7	
7	フィリピン※	4850	8.5	低位 中所得国
8	カンボジア	2750	7.8	
9	ラオス	2150	7.5	
10	東ティモール	1510	-8.5	
11	ミャンマー	1320	9.1	

(注) ※は新たに区分変更のあった国、出所は世界銀行



ファンド化するエヌビディア、顧客 20 社に 8 兆円投資 2026. 8. 22
実需覆い隠すリスク

米エヌビディアが半導体開発企業の枠を超え、人工知能(AI)産業全体に資金を供給する「ファンド」となりつつある。資金を顧客に提供し需要創出する手法は実需を見えにくくし、失速時にリスクを業界全体に広げることになる。



NVIDIAの主な投資先企業

AIインフラ	AIモデル開発
・米コアウィーブ	・米オープンAI
・米クルソー	・米アンソロピック
・米トゥギャザーAI	・米ワールド・ラブズ
・米SBエナジー	・米スペースX
・英エヌスケール	・米デカートAI
・蘭ネビウス・グループ	・米エロリアンAI
・豪ファーマス	・仏ミストラルAI
・豪IREN	・韓ネイバー

(注) 米CBインサイツや日経調べ。直近1年の発表分での主なAIインフラ・モデル企業を抽出

□カシオ、幻のゲーム機計画 90年代の研究技術が月面基地建設で復活へ JAXAが着目 2026. 8. 20

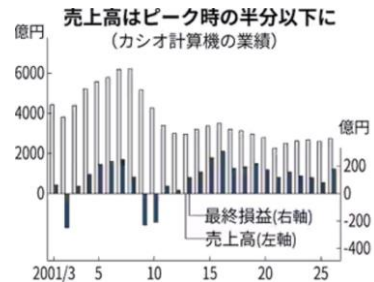
カシオ計算機がゲーム機向けに培った技術が、月面基地建設に使われようとしている。1990年代のゲーム開発計画は凍結されたものの、独自技術の活用先が見つかった。同技術を見いだしたのは宇宙航空研究開発機構（JAXA）だった。カシオには技術者が役職定年後に「マスター」の称号を得て働き続ける制度がある。その中の1人、R&D センターの飯塚宣男氏（63）が30年以上取り組んできたのが「カメラ可視光通信技術」。発光ダイオード（LED）の光の変化をカメラで認識して情報として伝える。



カシオとJAXAの共同研究の様子



カシオが90年代に開発していた野球ゲームの画面

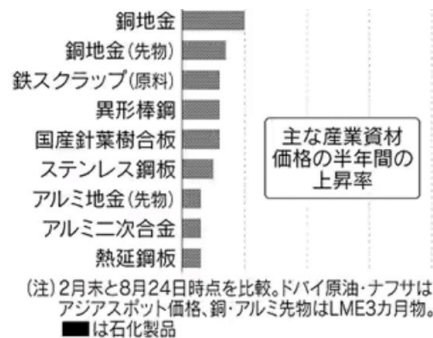
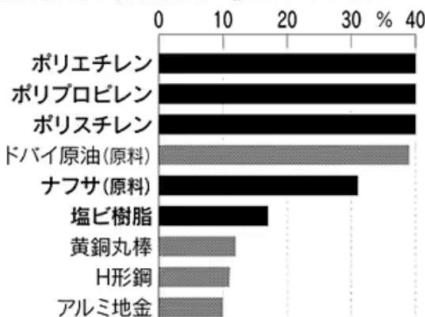


□海峡封鎖でプラ材料4割高 米イラン衝突半年 2026. 8. 28

資材インフレに濃淡 ステンレス5%、木材6%

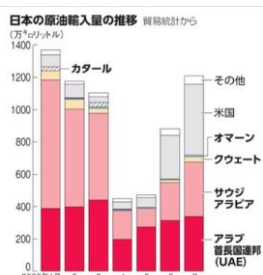
米国とイランの軍事衝突から28日で半年、ホルムズ海峡の実質封鎖が長引き国内の産業資材価格が高止まりしている。原材料の供給減が直撃した石油化学製品は4割上げた。ステンレスや木材は5%前後にとどまるなど中東依存度によって上げ方に濃淡がある。

国内相場は石化製品の値上がりが目立つ



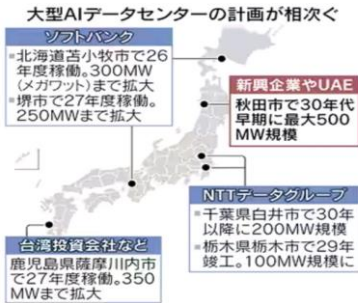
□原油の中東依存、なお6割 ホルムズ封鎖、ルート複雑化 2026. 8. 30

ホルムズ海峡が事実上封鎖されて約半年、日本の原油調達が大きく姿を変えている。貿易統計の分析では、中東産原油が減る一方、米国産が急増して不足分を補っていることが分かった。ただ、中東はなお全体の約6割を占める最大の供給源だ。ホルムズ海峡の内外を往復する「シャトル船」によるリレー輸送も確認され、調達ルートは複雑になっている。

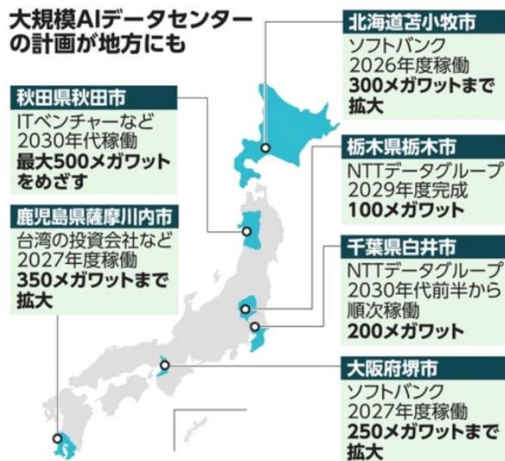


■ A I、生成 A I

□秋田に日本最大級 AI データセンター 建設費 2 兆円、UAE が投資へ 2026. 8. 7
日米企業や秋田県・市が秋田市に日本最大級の人工知能（AI）向けデータセンターを建設する。アラブ首長国連邦（UAE）などが投資する方向で協議しており、整備費は 2 兆円規模になる見通し。2030 年代早期の稼働を目指す。



□ A I データセンター地域経済を救うか 秋田の大型構想、U A E が視察 2026. 8. 20
地方都市で、A I（人工知能）向けのデータセンター構想が相次いでいる。19日には、大型データセンター計画がもちあがる秋田県に、投資を検討するアラブ首長国連邦（UAE）の駐日大使がやってきた。巨大インフラは、衰退に悩む地域の起爆剤となるか。



日本海沿いにあるデータセンターの建設計画地
＝18日、秋田市、福岡龍一郎撮影

□躍り出る「A I 俳優」、中国エンタメ界を席卷 2026. 8. 9
中国のエンターテインメント業界で A I（人工知能）の活用が急速に進んでいる。スマートフォンで視聴する 1 話数分の「ショートドラマ（短編ドラマ）」で A I 俳優の起用が広がり、完全に A I でつくるテレビドラマや映画も登場し始めた。急激に押し寄せる A I の波に、業界では期待と戸惑いが交錯している。



中国の主な動画生成 A I の開発企業とモデル名

開発企業	動画生成 A I のモデル名
字节跳动 (バイトダンス)	Seedance
動画投稿アプリ「TikTok (ティックトック)」の運営企業であるバイトダンスが開発する、中国を代表する動画生成 A I	
阿里巴巴集团 (アリババ集团)	通義万相 (Wan) HappyHorse
主力シリーズのWanに加え、今年4月に高性能な商用映像向けのHappyHorseが登場	
快手科技	可灵 (Kling)
快手科技は、TikTokの中国版「抖音」と並ぶショート動画プラットフォームの運営企業。Klingは海外展開に積極的で、国際的に高評価を受ける	
稀有科技 (ミニマックス)	海螺 (Hailuo)
動画だけでなく、対話や音声、画像など多様な分野の A I モデルを開発する企業。コストパフォーマンスの高さが特徴	

■その他

□370 兆円投資、株価動くか 量子は今年約 2 倍に

2026. 8. 7

銘柄点検 航空・宇宙は 2 桁上昇/ゲーム伸び悩み

政府は人工知能（AI）や宇宙など戦略 17 分野で、2040 年度までに官民で総額 370 兆円超を投資する計画をまとめた。アナリストリポートを配信するエンヴァリス（東京・渋谷）が選んだ関連銘柄を踏まえ、代表的な分野や企業を解説する。

東証上場の「戦略17分野」関連銘柄

戦略分野・AI・半導体	安川電機 フィジカルAIの成長に向けた1200億円の投資 予想決算期 予想最終損益 前期比増減率 株価騰落率 2027年2月 470億円 33.4% 2.33%	防衛産業	川崎重工業 航空機や潜水艦、ミサイルの製造を担う 27年3月 1100億円 1.7% 33.09%	創薬・先端医療	塩野義製薬 ソコーバ・セフィアレコルなど。感染症対応の国内リーダー 27年3月 2100億円 2.4% 2.38%
	ルネサスエレクトロニクス 半導体だけでなく設計支援ツールなどソフト領域を強化中 26年12月 3486.25億円 黒字転換 60.84%		多摩川ホールディングス みちびき地上局・衛星試験装置等の高周波機器 26年10月 18.35億円 — 86.42%		ミズホメディー 国産の感染症迅速診断 26年12月 32.2億円 -6.0% -1.64%
	フェロテック 半導体製造装置の部品を手掛ける 26年12月 370億円 — 65.01%		アストロスケールホールディングス 宇宙ごみとなった人工衛星を、新たな別の人工衛星から観測する取り組み 27年4月 -106億円 赤字継続 53.80%		イーレックス 再生エネルギー開発。バイオマス含む多様な再生エネルギー 27年3月 54.09億円 1.4% 37.62%
	インターネットイニシアティブ 官公庁、金融の通信・DX基盤を担う 27年3月 250億円 3.4% 26.67%	航空宇宙	三電電機 準天頂衛星「みちびき」など国内衛星開発・製造首位 27年3月 4950億円 21.4% 28.94%	再生エネルギー	東洋炭素 半導体製造用のろつばが主力。核融合炉壁素材で不可欠な部材も 26年12月 50億円 -8.5% 37.34%
デジタルサイバーセキュリティ	サイバーセキュリティクラウド AIエージェントの挙動や取引情報の可視化・制御する新サービス 26年12月 8.65億円 5.4% 1.56%		QPSホールディングス 小型SAR(合成開口レーダー)衛星コンステレーション 27年5月 19億円 64.9% -4.89%		カネコ種苗 種苗開発。植物工場向け品種改良 27年5月 16.5億円 24.5% -6.58%
	トレンドマイクロ 米オープンAIのサイバー防御に特化したAIを利用と発表 26年12月 366億円 6.0% -2.48%		東京計器 航空機搭載のレーダー警戒装置と艦艇向けの慣性航法装置 27年3月 50億円 24.8% 28.60%	防災・国土強靱化	応用地質 地質調査・防災コンサル。災害リスク評価の国内最大手 26年12月 39億円 -10.0% -0.53%
	フジクラ データセンターの建設増で光ファイバーの受注が急増。米国投資に注力 27年3月 2290億円 45.7% 43.57%	海洋	Synspective SAR衛星「StrIX」で船舶監視などのデータを政府・企業に提供 26年12月 26.24億円 黒字転換 1.23%		やまびこ 産業用ドローン・小型建機。自動・遠隔施工で担い手不足解消 26年12月 150億円 3.8% 30.38%
情報通信	santec Holdings 超高速光トランシーバーや光ファイバーケーブルを検証し、不良を防ぐ検査装置 27年3月 88億円 14.8% 89.27%		名村造船所 中型船建造に強み。米軍艦船の修繕も担う 27年3月 220億円 1.9% 22.60%	港湾ロジスティクス	上組 港湾運送最大手。荷役機械の運用・メンテナンス基盤 27年3月 273.4億円 -12.5% 2.35%
	QDレーザ 量子ドットレーザー量産。光通信主力で光電融合の国産キーデバイス 27年3月 4.41億円 黒字転換 4.8倍	造船	JX金属 半導体素材「スパッタリングターゲット」世界トップシェア 27年3月 1140億円 8.9% 93.72%		ニッコンホールディングス 自動車物流。物流DX・トラックシステム 27年3月 223億円 22.3% 48.06%
	オキサイド 量子もつれ光源・波長変換結晶。量子計算機向け紫外レーザー初号機出荷 27年2月 5.97億円 黒字転換 92.00%		大同特殊鋼 重希土フリーのネオジム磁石をEV・HV向け量産 27年3月 275億円 -15.7% 42.20%	コンテンツ	ブシロード トレーディングカードゲームを海外展開 26年6月 46.26億円 35.3% 27.36%
	HPCシステムズ QunaSys提携で量子化学計算ソリューション事業化 26年6月 4.8億円 13.5% 87.31%	マテリアル	リファインバースグループ 使用済み漁網を原料とした高品質リサイクルナイロンペレット 26年6月 3億円 2.1倍 34.77%		カブコン 人気ゲーム「モンスターハンター」「バイオハザード」好調 27年3月 580億円 6.3% 8.57%
量子	エヌエフホールディングス 超伝導量子ビット制御用の極低雑音計測を理研などへ供給 27年3月 7億円 8.2% 29.94%		味の素 半導体向け電子材料が伸び。医薬品の開発製造受託では米新興買収 27年3月 1200億円 -10.9% 49.68%		
	豊和工業 20年に部隊使用承認された「20式5.56mm小銃」提供 27年3月 10.8億円 45.7% 15.86%		カネカ 生分解性バイオポリマー「PHBH」量産で注目 27年3月 315億円 1.7% 30.10%		
防衛産業		合成生物学		バイオ	

(注) 上場市場は7月31日時点。前期比増減率は変則決算や会計基準変更などで比較できない場合は「—」。株価騰落率は2025年12月30日終値と26年7月31日終値を比較した。出所はエンヴァリスなど

□68 兆円 AI 半導体に賭け 官民、最先端分野に集中投資 「日の丸」復活目指す

2026. 8. 14

高市早苗政権は戦略 17 分野の柱に半導体を位置づけた。官民投資のロードマップに「2040 年度までに 68 兆円」と全分野の投資額の 6 分の 1 にあたる規模を示した。象徴的な存在となるのが北海道千歳市で製造工場を構えるラピダスだ。

キーパーソンの「勝ち筋」は？



AI向け半導体のシェア

ロジック半導体		メモリー(NAND)	
エヌビディア(米)	33.2%	サムスン(韓)	30.1%
インテル(米)	12.7	SKハイニックス(韓)	19.8
AMD(米)	9.0	キオクシア(日)	13.9
ブロードコム(米)	7.8	マイクロン(米)	12.7
クアルコム(米)	6.6	サンディスク(米)	11.1
アップル(米)	5.6	YMTC(中)	10.2

□人型ロボ、人類超え 中国で世界運動会

2026. 8. 24

人型ロボットが陸上などで競う「世界人型ロボット運動会」が中国・北京で開幕した。人類を超える記録が次々と飛び出し、飛躍的な進化を見せつけた。運動会は北京市などが主催し、今年で2回目。陸上100メートルでは、ウサイン・ボルトが持つ男子の世界記録9秒58を上回る9秒32の記録が出た。新興企業「北京人形機器人創新中心」が開発した人型ロボット「天工」が記録した。天工は昨年北京で開催されたハーフマラソンでも優勝している。ゴール後は減速用のマットに激突して炎上したが観客からは拍手が送られた。レースでは天工のほかにもボルトの世界記録を上回るロボットが相次いだ。



①世界人型ロボット運動会の開幕式で行
進する人型ロボット
②陸上100メートルで、ゴール後にマットに
激突。出火して係員が消火作業にあた
った
③陸上100メートルで疾走する人型ロボット

以上

図表、写真 の出所一覧（WEB、電子版を含む）

■半導体

- | | | | |
|---------------|-----------|---------------|--------|
| ・ 2026. 8. 7 | 日刊工業新聞 | ・ 2026. 8. 11 | 日本経済新聞 |
| ・ 2026. 8. 20 | 日経エレクトニクス | ・ 2026. 8. 28 | 日本経済新聞 |
| ・ 2026. 8. 19 | 日経 Xtech | | |

■ディスプレイデバイス（液晶・有機 EL 他）・タッチセンサー・部材

- | | | | |
|--------------|---------|---------------|--------|
| ・ 2026. 8. 3 | MONOist | ・ 2026. 8. 27 | 日本経済新聞 |
|--------------|---------|---------------|--------|

■新技術、材料、電池

- | | | | |
|---------------|---------|---------------|--------|
| ・ 2026. 8. 11 | 日本経済新聞 | ・ 2026. 8. 7 | 日経ビジネス |
| ・ 2026. 8. 13 | EEtimes | ・ 2026. 8. 31 | 日刊工業新聞 |
| ・ 2028. 8. 18 | 日刊工業新聞 | ・ 2026. 8. 22 | 日本経済新聞 |

■カーエレクトロニクス

- | | | | |
|---------------|-----------|---------------|--------|
| ・ 2026. 8. 8 | YahooNews | ・ 2026. 8. 10 | 日経ビジネス |
| ・ 2026. 8. 21 | 日本経済新聞 | | |

■通信

■環境/エネルギー/SDGs

- | | | | |
|---------------|--------|---------------|-------------|
| ・ 2026. 8. 9 | 日本経済新聞 | ・ 2026. 8. 10 | 日本経済新聞 |
| ・ 2026. 8. 11 | 日本経済新聞 | ・ 2026. 8. 14 | コミスト online |

■企業動向、製品動向

- | | | | |
|---------------|--------|---------------|--------|
| ・ 2026. 8. 3 | 日本経済新聞 | ・ 2026. 8. 5 | 日本経済新聞 |
| ・ 2026. 8. 6 | 日本経済新聞 | ・ 2026. 8. 7 | 日本経済新聞 |
| ・ 2026. 8. 8 | 日本経済新聞 | ・ 2026. 8. 10 | 日本経済新聞 |
| ・ 2026. 8. 11 | 日本経済新聞 | ・ 2026. 8. 20 | 日本経済新聞 |
| ・ 2026. 8. 19 | 日本経済新聞 | ・ 2026. 8. 22 | 日本経済新聞 |
| ・ 2026. 8. 28 | 日本経済新聞 | ・ 2026. 8. 30 | 朝日新聞 |

■AI、生成AI

- | | | | |
|--------------|--------|---------------|--------|
| ・ 2026. 8. 7 | 日本経済新聞 | ・ 2026. 8. 20 | 日本経済新聞 |
| ・ 2026. 8. 9 | 朝日新聞 | | |

■その他

- | | | | |
|---------------|--------|---------------|--------|
| ・ 2026. 8. 7 | 日本経済新聞 | ・ 2026. 8. 14 | 日本経済新聞 |
| ・ 2026. 8. 24 | 朝日新聞 | | |